

1-4. 破砕等能力

1日あたり処理能力	稼働予定日数	年間処理能力
100台/日	280日	28,000台

1-5. 保管の状況

解体自動車		A S R	
保管量の上限	1,200台	保管量の上限	7,000 t
現在保管数	1,000台	現在保管数	8,000 t

※ 事業所以外の場所で保管している場合には、その台数を内数で () に記入してください。

1-6. 年間収支見積書

2006年〇〇月〇〇日現在作成

項 目		前年度 (17年) (決算月 3月))		今年度の見込み (年間)	
		年度 (千円)	1台あたり (円)	年度 (千円)	1台あたり (円)
売上高 (全体)	ア (総売上収入)	276,000	12,000	524,000	20,000
経費	イ	149,100	6,483	310,800	11,863
うち廃棄物処理委託費	ウ	92,000	4,000	26,200	1,000
営業利益	エ=ア-イ	126,900	5,517	213,200	8,137
営業外利益	オ (主に支払利息(注))	△3,000	△130	△3,000	△115
経常利益	カ=エ+オ	123,900	5,387	210,200	8,023
使用済自動車等年間引取台数		24,000		25,000	
使用済自動車等年間処理台数		23,000		26,200	

(参考)

	前年度末	現在
負債総額 (年度末残高) (千円)	100,000	100,000

- (注) 1 「1台あたり」額は、売上原価は引取台数で、その他は処理台数で割ってください。
 2 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合は、マイナスで計上してください。